

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市議員



発行：2022年5月28日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

北陸新幹線延伸計画は中止すべき・桃山南地域に公共交通の整備を みなさんの声を届ける代表質問に立ちました



5月京都市会
代表質問中継

西野 さち子 (共産・伏見区)

5月23日の本会議代表質問で西野さち子市議は、共産党市議員団を代表して質問に立ちました。京都市は保健所機能が11行政区と3支所にあったものを1か所にしました。国が10万人に1か所に緩和しましたが、京都市は145万人に1か所になっています。その結果、自宅療養や高齢者施設でのクラスター発生などに対応できませんでした。応援に駆り出された職員の残業も異常な状況ですから、市民生活を守るために

保健所を増やし、3800人も減らした市職員の増員などの改善をすべきと求めましたが、市長は「市民生活に大きな影響はない」と無責任な答弁でした。また、知事選挙でも争点になった北陸新幹線延伸計画について、大量に発生する土砂の処理の観点から、中止を求めました。その他、自営業者の白色申告には家族の賃金は必要経費として認められていません。国に改善を求める事や、土砂条例の改正強化を求めました。また、地域内に公共交通が整備されていない桃山南地域に公共交通を整備すべきと要望しました。

議員日誌

痴漢被害の実態アンケートに取り組んでいます

日本共産党は5月末までの期間、通勤や通学などでの痴漢被害について、実態を調査するためのアンケートを行っています。性暴力について、泣き寝入りをする例も多く、日本共産党はたけやまさいこ参議院予定候補とともに、ジェンダー平等委員会として府市議員も加わり、鉄道会社などへの要望をしてきました。その結果、地下鉄東西線では「痴漢は犯罪です」とのアナウンスが流されました。受験シーズンは特に被害が多いようです。返信されたアンケートには、深刻な被害も報告されています。共産党市議員団18人は、更に実態把握が必要と、三条河原町で全員そろってアンケートのアピールをしました。



ヘルスピア21 (健康増進センター) の廃止は認められない

南区にあるヘルスピア21 (健康増進センター) は、高齢者や小さな子供さんたちまで、気軽に利用できる施設として喜ばれています。市民の皆さんの健康増進や介護予防、生きがいづくりなどに貢献してきた施設です。ところが、3月の教育福祉委員会に突然廃止方針が出され、わずか2か月後の今議会に廃止条例が提案されました。2年前には4000万円をかけてプール天井の改修を行ったばかりです。コロナ禍の最中でも、1昨年は年間6万人もの人が利用しています。

短期間で存続を求める請願や市長あての署名が計4900筆も寄せられていますから、ヘルスピアの果たしてきた役割の大きさがうかがえます。ご一緒に声を上げましょう！

憲法9条を守ろう！ 醍醐ピースパレードに参加しました



5月15日の沖縄返還50年の日に、醍醐地域でピースパレードが行われました。醍醐折戸公園から地下鉄石田駅までのコースですが、思い思いのプラカードや新日本婦人の会の女性青と黄色のブーケを持ち寄るなどの工夫をされ、アピールしました。パレードに先立って行われた集会では、「9条の会・醍醐」「京建労醍醐支部」「元大学教授」からの挨拶が行われました。元大学教授の神田さんは「青年たちに憲法を教える事、特に今政治家が改憲の動きを活発化しているときに、正しい情報を伝えることが大切」と学徒動員された父親の例を話されました。バス停から拍手やこぶしを上げて激励する方もあり、共感を呼びました。

困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎ 621-6717